

平成 2 4 年度

栃木市寺尾財産区特別会計
決算審査意見書

栃木市監査委員

栃市監第41号
平成25年8月19日

栃木市長 鈴木 俊美 様

栃木市監査委員 板倉 安秀

栃木市監査委員 大出 孝幸

平成24年度栃木市寺尾財産区特別会計歳入歳出
決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付された平成24年度栃木市寺尾財産区特別会計歳入歳出決算及び関係書類を審査しましたので、その結果について、次のとおり意見書を提出いたします。

平成24年度

栃木市寺尾財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

1 審査の対象

平成24年度 栃木市寺尾財産区特別会計歳入歳出決算

2 審査の期間

平成25年7月8日から平成25年8月16日まで

3 審査の方法

審査に当たっては、審査に付された平成24年度栃木市寺尾財産区特別会計歳入歳出決算並びに基金運用状況について、歳入歳出決算書及び歳入歳出事項別明細書と関係諸帳簿とを照合、点検し、計数の正確性、予算執行の適否等について審査を行った。

4 審査の結果

- (1) 関係書類はいずれも法令の規定に準拠して作成されており、計数においても正確であると認められた。
- (2) 諸帳簿及び証ひょう書類等を照査したところ、計数は正確で、内容は妥当なものと認められた。
- (3) 予算の執行状況及び事務処理は、概ね適正であると認められた。また財産に関する調書は、年度末現在高を明確に表示し、計数はいずれも正確であると認められた。
- (4) 基金の運用状況は、基金出納簿及び関係証ひょう書類と符合し、設置目的に従い、効率的に運用されているものと認められた。

栃木市寺尾財産区特別会計

1 決算の状況

歳入決算額 2885万6222円（対予算現額 88.4%）

歳出決算額 2501万4161円（対予算現額 76.6%）

歳入歳出差引額 384万2061円（形式収支額）

（単位：円）

区分	年度		
	24年度	23年度	対前年度増減
①歳入総額	28,856,222	30,370,808	△1,514,586
②歳出総額	25,014,161	27,907,075	△2,892,914
③形式収支額 (①-②)	3,842,061	2,463,733	1,378,328
④翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0
⑤実質収支額 (③-④)	3,842,061	2,463,733	1,378,328
⑥前年度実質収支額	2,463,733	3,494,462	△1,030,729
⑦単年度収支額 (⑤-⑥)	1,378,328	△1,030,729	2,409,057

2 歳入

（単位：円・%）

区分	年度			
	24年度	23年度	対前年度増減	
予算現額	32,639,000	30,065,000	2,574,000	
調定額	28,856,222	30,370,808	△1,514,586	
収入済額	28,856,222	30,370,808	△1,514,586	
不納欠損額	0	0	0	
収入未済額	0	0	0	
収入率	対予算	88.4	101.0	△12.6
	対調定	100.0	100.0	0.0

決算額は3263万9000円で、収入率は予算現額に対して88.4%、調定額に対して100.0%となっている。

歳入の主なものは、土地貸付収入2594万5966円（89.9%）及び前年度繰越金246万3733円（8.5%）である。

3 歳出

(単位：円・%)

区分 \ 年度	24年度	23年度	対前年度増減
予算現額	32,639,000	30,065,000	2,574,000
支出済額	25,014,161	27,907,075	△2,892,914
執行率	76.6	92.8	△16.2
翌年度繰越額	0	0	0
不用額	7,624,839	2,157,925	5,466,914

決算額は2501万4161円で、執行率は予算現額に対して76.6%となっている。

決算額の主なものは、議会運営費113万200円(4.5%)、財産区有山林管理事業費96万1411円(3.8%)及び運営基金積立金2266万1000円(90.6%)である。

4 公有財産

(1) 土地及び建物

土地の決算年度末現在高は712,364㎡で、前年度と比較して増減はなかった。

建物の決算年度末現在高は46㎡で、前年度と比較して増減はなかった。

(2) 山林

山林の決算年度末現在高は712,364㎡で、前年度と比較して増減はなかった。

立木推定蓄積量の決算年度末現在高は16,024㎡で、前年度と比較して234㎡増加した。

(3) 出資による権利

みかも森林組合出資金の決算年度末現在高は258万円で、前年度と比較して増減はなかった。

5 物品

(1) 測量製図用機械器具類

測量製図用機械器具類の決算年度末現在高は、森林管理業務支援システム1式で、前年度と比較して増減はなかった。

6 基金

栃木市寺尾財産区運営基金決算年度末現在高は、3億2296万7000円で、前年度と比較すると2266万1000円増加した。

これは、運営基金積立金として2266万1000円を積み立てしたためである。

むすび

当財産区の雄大な自然は、自然生態系の保護等に大きな役割を担うとともに、市民に安らぎと潤いをもたらすものであり、財産区の設置目的に照らした適正な維持管理、会計の適正経理、コスト縮減に引き続き務められたい。

3億円を超える多額の基金については、必要に応じ教育資金など他会計を支援するなどの処理を取りつつ、当財産区の将来にわたる安定した運営に支障を来すことのないよう、昨今の不安定な金融情勢を踏まえ、今後とも周到な管理運用を図られたい。

当財産区のこれまでの成果を踏まえつつ、将来にわたる財産区のあり方（管理運営）の検討、併せて財産区の自然環境の保全といった公益的な役割を果たす貴重な資源の活用策についても、引き続き、地域住民、議会等関係者による協議を進められるよう望む。

また、水資源の確保という長期的な問題がある。地域住民はもちろん、市民全体の将来のことを考え、水源地の取得についても考えられたい。

今後とも市全体に寄与できるような財産区であるよう望む。当財産区の管理運営がより効率的に執り行われることを期待する。